

「市長と語ろう！」 高校生世代ミーティング【概要】

平成29年11月26日（日）

14時～15時30分

都立砂川高等学校 視聴覚室

1 開会の挨拶

（市長）

こんにちは。市長の清水でございます。

去年に引き続き、砂川高校のご配慮をいただきまして、高校生の方々とのミーティングが開けますことを大変ありがたく、うれしく思っています。

今、立川にはさまざまな課題があります。立川のことを事前に調べていただく中で、課題や良いところ等、いろいろピックアップしていただいたかと思いますが、いずれにしても結論としては、いい方向へ持っていくためにどうしたらいいかということで日夜苦戦しております。皆さん方、若い世代の方の価値観の中から将来の立川の展望へのヒントがいただければ、よりありがたく、うれしいと思っております。

立川のまちは、50年前には人口は約10万人でした。現在18万3,000人ですから、50年間で8万人増えました。近隣の市町村に比べると、人口の伸び率の高いまちです。要因の一つとして、例えば、大山団地や松中団地等、1,000戸を超す大きな団地が一斉に整備できました。そのほか、公社住宅や分譲の団地もたくさん整備されました。これが一番大きな理由です。団地ができると、そこへ若い夫婦が住み、若い夫婦が住めば、子どもを産んで育てる、爆発的な増加ぶりでした。それが一段落して、次世代、そして3世代目になると、すっかり状況が変わり、子どもをつくっても、1人せいぜい2人、そんな状況です。

少子高齢化による人口減少で、ますます活力がなくなってしまうため、これを何としても防がなければなりません。右肩上がりの経済成長がなければ現在の水準を保つことはかなり難しくなっており、まちおこしをする努力は多くの自治体で行われております。

そういう中で、自治体が一斉にそういう努力をしていったら、少しでも抜きんで、先頭に近い位置で走らなければ人口増や、経済の活性化が実現されません。自治体の競争社会になっていくという面もあるわけです。そういう中では、あらゆる資源、アイデア、あるいは、そういうことによってまちを活性化させていこうというのが主眼であります。

こういうことを考えながら毎日仕事をしておりますが、今日は市内5校の高校のうちの4校の学生さんに来ていただき、いろいろご意見を出していただけるということでございます。冒頭にあまり私がしゃべるとプレッシャーになると困りますので、後ほどの質疑応答等の中で、いろいろしゃべらせていただきたいと思います。

今日は短い時間でございますが、皆さんが思いっきり意見を發揮していただいて、お知恵をかしていただけますようお願いを申し上げ、冒頭のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

2 意見交換

（参加者）

立川の魅力、課題、アイデア等を一言でまとめると、便利けど治安が悪いと自分は感

じました。交通の便が良く、欲しいものや必要なものがすぐに駅前などでそろうという点がとてもいいと思います。治安が悪いという点では、立川駅の南口が夜とても暗く、少し怖いと思うような人が多く、北口でも比較的暗いと感じる場所が多い印象はあります。

(参加者)

私は魅力、課題、アイデア等を一言であらわしたら、「ちょっと惜しい」ということになりました。立川はゆるキャラがいて、昭和記念公園があったり、IKEAやららぽーとなど買い物ができる場所があり便利ですが、一方、パチンコ屋が多かったり、道路の整備が少し整っていなかったり、治安がよくないところもあるかなと思ったからです。

(参加者)

アイデアについて、「お金持ちに選ばれるまちへ」とまとめました。立川に住みたいが、地価が高く家賃も高くて、住もうにも住めないという人や、すごいお金持ちでもそういう人は立川を越えて、23区の高級住宅街と呼ばれる地域へ行ってしまう、その結果人口が流出しているのではないかと思います。南口の治安の悪さを取り除いて、ネガティブな要素を少しでも減らして、高級住宅街へと再開発をして、地価が微妙に高いではなく、すごく地価が高いというふうにして、立川ブランドをつくり上げて、お金持ちのまちとアピールできるようにしてみたらおもしろいと思いました。

(参加者)

自分が思ったことは、暮らしやすいまちということです。立川駅周辺にはお店が多いですが、北口と南口の間で発展具合に差があると思います。南口にはパチンコ屋やゲームセンターが多く、その分雰囲気が悪いと思います。北口にも信号無視する人が多いと思い、その点から、立川は暮らしやすいまちだとは思いますが、子育てがしにくい環境にあるのではないかと思います。

(市長)

どうもありがとうございました。かなり鋭いご指摘をいただいております。

まず、便利だが治安が悪いということでございます。おっしゃるとおり、治安が悪い部分が特に南口には見受けられます。新宿の歌舞伎町によく似たような状況で、私も心を痛めております。新宿区長と会合でお会いした際、歌舞伎町は最近落ちついてきましたが、秘訣は何ですかとお聞きしたところ、辛抱強く治安対策を行っていくことですねと言われました。商売をする方は貸店舗を借りて商売するということですから、病院の無菌室のようなきれいなさっぱりしたまちにしたら全く人は来ない。ここら辺の兼ね合いがとっても難しいので、辛抱強くパトロール等の対応をしていかなないとちょっと難しいですよというお話も聞いております。

私もそのとおりだということで、パトロールを行っています。市役所の部課長が夜間2時間ほど巡回したり、専門の業者をお願いしてパトロールしてもらう。こういった地道な努力を続けており、2年、3年ほど前よりは少し改善されていると思います。

まちが汚れていると、どうしても人の気持ちが荒れ、治安が悪いことにつながっていくということで、立川駅から半径250メートル以内の特定地区内では路上喫煙を禁止することで、まちをきれいにしようという努力を行っています。おかげさまで、南北のデッキの上では、ほとんど吸い殻が捨てられている状態はなくなってきました。さらにこれらを地道に続けていくことでまちがきれいになり、同時に治安もよくなっていくというつもりで一生懸命、今やっているところでございます。

お金持ちに選ばれるまちというアイデアは、かなり皮肉を込めた発言であったかと思います。多摩地区26市のうち、生活保護を受けている人数が、清瀬市に次いで二番目に多い状況です。働きたくても体の具合が悪く、健常者と同じような仕事はできないという人にとっては、立川市はとっても優しいまちだと思います。身体強健で、競争社会も何でも勝ち抜いていける人は、それはそれでグッドなのですが、そうじゃない人も生活しています。その人たちは誰がどう助けてあげるのかということになりましたら、市民全体が手助けをしていくという社会でなければいけないと思いますので、そこら辺は、ぜひ逆の方面から一度考えていただければありがたいと思います。

立川の隣の国立市は高級住宅街が多いですが、元々は、箱根登山鉄道という会社が、戦後開発をしたまちです。開発をする前は雑木林だった場所で、そこへ鉛筆で絵を描いて、人工的につくったまちなので、ああいう形ができました。ところが、立川や砂川あたりは、水があるところ、湧水があるところ、街道が古くからあって、交通ができますよということへ、民間の人がぼつりぼつりと家をつくってでき上がったまちなので、なかなか計画どおりにはできないところがウイークポイントです。

隣同士、あるいは地域の中での自治会の活動を活発にすることによって、お互いが顔と名前の知り合える仲になっていくということを地道に努力し続けることによって、治安や近隣のつながりというものができ上がっていくものと感じております。

それから、暮らしやすいまちというのは、反面、人が多く集るのでいろいろな問題が生じてきます。立川市の第4次長期総合計画は、ハードからソフトへ転換するまちづくりを進めています。立川のまちは、南北にデッキがあり、モノレールがど真ん中を走っており、ハードな部分のまちづくりは26市ナンバーワンであると思いますが、ここで箱物行政はほぼ終了になります。

ヤギがいたあの土地は、国から立飛さんが買いましたが、そこには多摩信用金庫の本店や高級ホテル、2,500名収容の音楽ホール等が整備される予定です。これにより、立川の周辺の建設や建築に関する事業であるハードのまちづくりは、ほぼ終わります。

次に、人に集まってもらうため、安心して憩えるような気分で立川のまちへ集まってきてもらえるためには何が必要か。これは教育や文化、子育て、これらのものをつくり出すのではなく、雰囲気をつくる、あるいは人づくりを進めるというソフトの事業を中心として、今後の10年間は進めていくという方向へ転換をしてきたところです。

(参加者)

立川は本がたくさんあるところが魅力だと思います。温泉施設や漫画を読む施設があり、種類が多く充実している大きな本屋もあります。また駅から近い図書館があるのも立川の魅力だと思います。しかし立川にある図書館を知らない人や、図書館の利用方法がわからない人もいるので、そういった魅力を生かせるようにしたほうがいいと思います。

(参加者)

店舗が多いのが立川市の魅力だと思います。駅の近くに図書館や公園があるのもとてもいい反面、駐輪場が少ないのは不便だと思います。昭和記念公園内に巨大な屋内休憩施設を整備して、雨天時等その売店や飲食店を利用してもらうのはどうかと思います。

(参加者)

立川市はとてもいいところで、駅周辺がとても充実しており、立川市内へ出かけるにも、

周辺に出るにも、便利なまちだと思いますが、物価や土地が高いというところが課題と思います。治安が悪く、怖い人がいるところが不安ですし、もう少し安かったら住みたいなと思います。

(参加者)

便利なまちですが、登校時間にパチンコ屋の前に人がいっぱいたまっていたりして、夜も暗いところも多く、治安がよくないと思います。

それから、たばこの喫煙スペースがあったらいいなと思います。

(市長)

立川には本屋さんもたくさんあり、デパートのワンフロアを広く使った本屋さんもあり、充実していると思います。

市民の皆さんにたくさん本を読んでもらうような形で、中央図書館の他、市内に8つの図書館の分館があります。また、立川の図書館は、市民でなくても、東大和や昭島等の近隣市の本を貸し借りできる協定を結んでおり、今後も充実していきたいと思っています。

それから、駐輪場が少ないといった件ですが、実は、全体の駐車台数は確保されているのですが、遠いとそこまで行って入れてもらえない現状があり、それが悩みの種です。無料にすると、まあまあ入るということもあるのですが、そうしますと、なかなかそれだけのものをそろえることができないので、とても悩んでいます。

通勤、通学で立川駅の周辺まで乗ってきて置き場所がないということは、数字上はない状況になっています。ほんの50メートル歩いてもらえると、空いている駐輪場が見つかるはずですから、ぜひご理解いただきたいと思います。

昭和記念公園は、昭和天皇陛下のご在位50周年を記念してつくられた公園です。屋内施設というのは初めてお聞きしました。現在、小規模な売店等があります。市民の方からこういう要望もあるということで、昭和記念公園のほうへ伝えておきます。

確かに立川の土地の値段は、駅前などは多摩地区で一番高いです。ただ、モノレールに乗って3つ、4つの駅を過ぎてもらえると、そんなに高くない地域もありますし、西武線沿線は、大変利便性が高く、西砂町などの土地は安いところがあります。

それから、便利だが治安が悪いということは、人が大勢集まるとどうしても嫌な面というのは出てまいります。治安をこれ以上悪化させない、治安をよくするためのパトロール活動等で地道に続けてまいりたいと考えております。

それから、たばこを吸えるスペースは、今、私としては整備するつもりはありません。禁煙や節煙をするような健康管理のキャンペーンを行っておりますので、そのような方向に行っていただければありがたいと思っています。

立川駅から250メートル以内は禁煙と言いましたが、アウトドアでアートが楽しめるファーレ立川の部分がその範囲から外れています。ファーレ地区だけは、禁煙のエリアにしたいと思っております。

(参加者)

モノレールに乗る人たちから乗車料金が安いといった声をよく聞くので、乗車料金を安くしたり、土地の価格も安くしたら人口も増えると思います。

(参加者)

立川駅の周辺はお店がたくさんあって栄えているのですが、立川駅からちょっと離れる

とお店が少なくなってきた、ちょっとさみしいと思います。

(参加者)

中央特快や特急あずさが停車することで、たくさんの方が立川に来られていいと思いますが、交通の便が良く、人がたくさん降りることで、治安が悪くなることも感じてしまいます。また、ごみのポイ捨てや歩きタバコ、駅前で宗教などの勧誘が多いなと思います。

(市長)

まず、全体に価格が安くというのは、なかなか難しい問題でして、役所や権力者が物の価格や土地の価格を意図的に操作することはできません。人が欲しければ欲しいほど価格が自然につり上がってしまうというのは、資本主義社会、自由主義社会の一つの鉄則のようなものになっており、私の力ではいかんともしがたい面もあります。賢く消費をしていただければいいのかなと思っています。

それから、駅とその周辺の差ですが、これは、商売は大勢人が集まって、多くの人の目や耳を集めるのが一番商売の秘訣とされておりますから、人通りが多いところへお店が集中してしまうのは、やむを得ないわけです。ただ、周辺へ行くと、どうしてもお店が少なく暗くなる、暗くなると何か怖い、治安が悪くなってしまう面があります。あまり奨励したくない話ですが、防犯カメラを整備していく対策も考えられます。

市としては、学校の通学路や学校内に防犯カメラを設置して防犯を強化したいと考えています。駅の周辺も、立川駅の北口や南口周辺に防犯カメラを設置しております。

人が集まると犯罪が起こりやすいというのは、日本のみならず世界中に共通することだと思っておりますが、地道に防犯活動を続けていくことが一番大事なことだという思いで、市として取り組んでいきたいと考えています。

先ほど、宗教の勧誘というお話がありました。立川市が管理している北口のデッキで募金活動や何かの勧誘活動をするには市の許可が必要です。あまりにひどいようなことがあれば、ぜひ教えていただければと思います。

(参加者)

私たちのグループでは、魅力の内容より課題の内容がとても多く、例えば立川駅の北口と南口では雰囲気異なり、宗教の勧誘や、タバコなどが多かったのも、そこを直して魅力を増やしたほうがいいと思いました。

(参加者)

魅力としては、昭和記念公園の花火大会やイルミネーション、アニメのお祭り等を見に来る人が増え、また、新しくできた建物も増えて、来る人が多くなったことが魅力で、いいことだと思います。

課題は、治安が悪いことです。北口と南口での雰囲気が全く異なり、南口は細い道が多く、私がよく行く店の近くも道が狭く、夜行くと暗く危ないです。もっと道を広くしたり、街灯を増やして明るくしたほうがいいと思います。

アイデアとして、アニメは最近多くの若い人が興味を持っていると思うので、もっとそれをアピールすれば、もっと立川市に来る人が増えると思います。

(参加者)

立川全体としてお店が多かったり、交通の便がよかったり、ドラマやアニメの舞台になっているなど、観光地として市外から人がたくさん来る要素はあると思います。住む人を

増やすために道路の整備や治安の解消をしていったほうがいいと思いました。

(参加者)

今回、私に取り上げたのはたばこを吸う人と吸わない人との共存です。

府中市には罰金として5万円以下の過料、目黒区では3万円以下の過料が条例で決められていますが、立川市の条例には罰則、罰金がないため違反をしても犯罪にはなりません。

立川市では平成28年7月11日立川駅周辺の喫煙場所が廃止されましたが、廃止した理由は、主に市民や来場者からの苦情ということです。なぜ市民たちが苦情を言っていたのか、それは喫煙所が柵で囲っただけのものだったからです。デパートなどの喫煙所は全面ガラス張り、空気清浄機のようなものも備え付けて、煙を外へ出さないようにしています。立川市も、デパートにあるような喫煙所を整備したほうがいいと思います。そうすれば煙も出ずに市民の文句もなくなると思います。

喫煙所を廃止したせいで路上喫煙をする人が増えるので、喫煙所をもう一度設置してほしいです。喫煙所がないことで、仕方なく路上で吸う人が増えてしまいます。喫煙所がなくなることは喫煙者にとって痛いものです。吸う人と吸わない人との共存を図りたいのならば喫煙所を設置してあげてください。

(市長)

最初に、魅力を増やしましょう、立川の楽しい場所や何かをたくさんというのは、冒頭私が申し上げた、1人でも多くの方に立川に来てもらうことによって、それなりの利益が出て、市の財政に貢献していただけると、こういう思いから、今、さまざまな仕掛けをしております。

ファール立川のイベントも今年は大々的に行いました。おかげさまで、姉妹市の長野県の大町市からも大勢見えていただき、日本全国から、ファールを目指して来る人も増えてきました。先ほどの立飛企業が行う、ホテルや音楽ホールでの超一流アーティストの公演をやってもらえると思っております。これからさまざまな仕掛けがあろうかと思いますが、2020年のオリンピック開催へ向けて、どうぞ期待していただきたいと思います。

立川の南口は、1966年に事業認可を受け区画整理を始めました。ほとんど交差点が十字路になっています。当時は車の往来は全く考えておらず、歩いてまちを散策したり、買い物のできるまちというコンセプトでつくられました。ですから、まともに車がすれ違えるのは主な道だけで、あとは自転車と歩行者でちょうどいいぐらいの広さになっています。

南口の商店街関係者の方々は、北口と違って、南口は小さいまちだから、道路も狭いし、距離的にも小さいまちだから、グループのお客さんに来ていただいて、さまざまな食事、料理を提供する食のまちを目指そうじゃないかということで、今やっております。南口の商店街の方々からは、道路を広くしてほしいというお話は出ておりません。逆に道路を広くすると言ったら、車が猛スピードで走って困るという反対が出るのではないかなと思います。成り立ちを聞くと、なるほどと思っていいただけるかと思います。

それから、サブカルチャーのお話ですが、立川市内のコトブキヤさんというアニメやフィギュアをつくる世界的なメーカーをご存知ですか。3年ほど前に、創業60周年記念祝賀会を行った時、ニューヨークやハリウッド、ヨーロッパ等、海外からのお客さんがたくさん見えていました。ハリウッド映画のいろいろなおもちゃの仕掛けをつくっている、世界的に有名な企業です。これからもコトブキヤさんを中心に、さまざまな情報を発信してしてくれるのではないかと期待しています。

映画「シン・ゴジラ」では、立川市役所や警察、消防、自衛隊、内閣の第2首相官邸が実際に映っていたり、アニメや映画の世界では、立川というのはおもしろいまちだということで、評価されているみたいです。

北口の駅前のオレンジ色の2本支柱がありますが、飾りのためにつけたのではなく、北口の広いデッキの柱の代わりのものです。デッキ下のバスターミナルの柱を少なくして、バスをたくさん入れるようにするため、支柱のワイヤーが下へ引っ張ってあって、ワイヤーをあそこの下のデッキのところへ引っかけて持ち上げています。

道路の整備については、南口の区画整理により、狭い道路になっております。

立川の交通網の整理の中で一番脆弱なところは、中央線、青梅線を通して南北の道路交通が極めて少ないことです。羽衣町と国立市との境のところは、中央線の高架化によりその下を通れるようになりました。あの道路をさらに南へ広げようといった計画が進められています。

たばこのポイ捨て、路上喫煙について、条例に罰金がないということでございますが、最終的には性善説に立とうではないかということで、あえて罰金を課さないことにしました。最初から公権力を振りかざして居丈高に物を言うよりも、性善説に立って、立川に来る人は、話せば理解をしてくれるだろうと、こういう基本的な考え方から、罰金をしないでお願いするだけということでスタートしました。同じく、喫煙所の廃止に関しても、たき火をするようなもうもうたる煙が毎朝舞い上がっておりました。いっそ、取ってしまったほうがいいだろうということで取ったわけです。日本で最初に路上喫煙を禁止した千代田区の場合には、はじめから罰金を取っておりましたが、トラブルが絶えなかったそうです。お話をすればわかってくれるだろうということでスタートいたしまして、これからは基本的にはそういう形で路上喫煙対応を行っていきたいと思っております。

（参加者）

たばこの喫煙に対して今でも罰金とか罰則をつけない考えは変わりませんか。

（市長）

立川というちは、今まで基地のまちとして日本中に知られてきました。もともと、米軍立川基地になる前は、立川飛行場が大正時代から存在しており、飛行場があるということは、精密機械、精密な仕事ができる職人さんたちが日本中から立川に集まってきた歴史があります。

青梅市や八王子市には、大企業さんの大きな工場や会社があります。立川には、残念ながらそういう会社がほとんどありません。また、広い土地もありませんので、今さら工場を建てることもありませんので、大勢の、多くの業者の方に立川に集まっていただきたい。そして、コトブキヤさんのような、さまざまな価値のある製品をつくっていただいて、そういう業界の人たちに立川に集まってもらい、そこで働く人、そこから買い付けをする人に集まってもらって、初めて立川のまちに、にぎわいが創出できるということです。

お客様は神様ですというお話がありましたが、立川に来てくれる人に悪い人はいないという思いの性善説に立って、行政運営をやっておりますので、少なくとも、私が市長でいる限りは、罰金の方向はないので、ぜひ理解していただきたいと思います。

(参加者)

タチヒビーチの設立理由と効果を教えてください。

(市長)

民間の会社が自分の土地を使って営業するということなので、それを評価するのは難しいですが、立飛の社長はアイデアマンで、いろいろな仕掛けをされております。タチヒビーチでバーベキューや、ビーチバレー、ビーチサッカー等もできるようです。さまざまな新しい仕掛けが、立飛の一角から生まれてくるのではないかと考えています。

先日は、バスケットボールのアルバルクの試合がアリーナであり、3,000人のお客さんが集まったそうです。来年は、アリーナで相撲もやるということのようですから、立川にお客さんを大勢集めてくれることについては、大変ありがたいことだと思っています。

(総合政策部長)

タチヒビーチは、タレントの清水国明さんが立飛とのお話しで整備されたそうです。ヤギの放牧でも、あのヤギ自体も清水国明さんがある程度提供しているそうで、立飛さんとながりができ、立飛さんの中にタチヒビーチをつくったらというご提案があって、そういう話になったようです。実現には至っておりませんが、地震等の有事の際、キャンピングカーを使用できるような基地を立川につくったらどうかといった提案もされております。

(参加者)

条例に罰則、罰金がないのはわかったのですが、結局喫煙所はつくらないのですか。全面ガラス張りでもだめですか。

(市長)

役所が喫煙所をつくるという考えは、今はまだ持っておりません。

3 閉会の挨拶

(市長)

週に一度の大切な日曜日、皆さんは1日を潰して、この会のためにご努力をいただき、ほんとうにありがとうございます。

私もなぜか高校時代のことが一番覚えています。さまざまな経験をすることによって、色々なことを学びました。一番印象に残っているのは、悩みが一番多かった高校生のときでした。自分自身でどうしたらいいのかわからないようなときや、親への猛烈な反発、社会全体へ猛烈に反発したくなったようなこともありました。友達が大勢いたので、友達と海まで行って一晩明かしたり、そんなことをやりながら心の鬱憤を晴らしていました。さまざまな障害や、腹の立つこと、ぶつかりたいこと、反発したいことがたくさんあるかと思いますが、それも成長のあかしだと私は思っています。思う存分ぶつかって、そして勝負してみてください。勝負は何回でもできますからね。大きな、大切な人生をつくるための今の下積み学習、ぜひ頑張ってくださいと思います。

今日はありがとうございました。